



Love God and Serve His People

聖学院大学

一人を愛し、一人を育む。

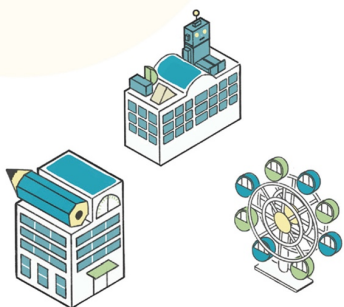
子ども教育学科

子どもを学び、子どもに学び 広がる社会と未来。

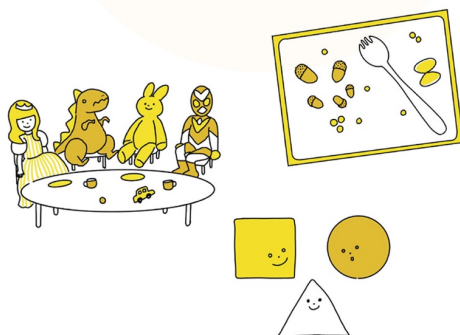
2023年4月にスタートする子ども教育学科は、子どもの世界——言葉や行動、心理など——を理解することを学びの一步とします。子どもの世界を理解することは、子どもがのびのびと成長しやすい環境や社会を考えることにつながり、その実現をめざすことは今を生きる子どもが担うこれからの世界をより良くすることになる、と考えるからです。子どもを学び、子どもに学びながら、一緒に未来を考えましょう。

Contents

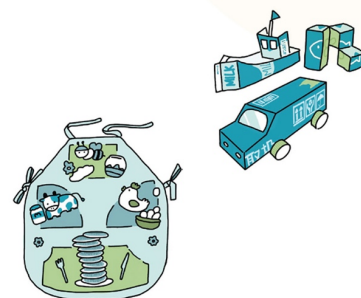
社会に広がる、
子どもに関わる仕事。



子どもの世界を考えるのは、
これからの未来・社会を考えること。



子どもの世界で働く
センパイたち。



社会に広がる、子どもに関わる仕事。

自分の子ども時代を思い出してみてください。家庭や学校以外にも、近所や外出先でたくさんの大人が見守ってくれていたことに気がつくのではないのでしょうか。子どもに関わる仕事は先生や保育士だけではなく、社会のあらゆる場所には、子どもを深く理解し、その成長を支える人が存在しています。

子どもの本や教材制作

子どもに夢を与え、思考を育む児童書や図鑑、絵本・教材などを制作します。成長過程への理解が必要なため、編集に参加する教師や保育士もいます。

文房具メーカー

文房具は子どもの大好きなアイテム。メーカーでは楽しく使える商品の開発を行い、販売店では子どもと直接接して商品の紹介や販売をしています。

商業施設スタッフ

迷子の預かりほか、施設内での子どもの安全に努めます。また、プレーパークなどで、一緒に遊ぶことで来店した子どもに楽しい時間を提供しています。

遊技場スタッフ

遊びを知り尽くしたプロフェッショナル。同じ目線で一緒に遊び、安全を確保しながら子どもたちに体験と満足感を与えます。

子ども食堂のスタッフ

子どもや親子に栄養バランスのよい食事を、無料または安価で提供する子ども食堂のスタッフ。おいしいごはんとともに、笑顔も提供できる仕事です。

旅行会社

従来の修学旅行はもちろん、自然体験や、職業体験、キャンプ、スキーなど、子どもの視野を広げるさまざまな旅行商品を企画・販売しています。

不動産業

妊娠や出産を機に不動産購入を考える家族が多くいます。家や土地探しに子ども目線のアドバイスができれば、きっと喜ばれることでしょう。

おもちゃメーカー

遊びながら子どもの発想力や想像力、運動能力などを養う知育玩具、また大型の室内遊具、公園遊具などを開発・製造・販売しています。

警察・消防

子どもがのびのびと成長できるまちは、大人も過ごしやすいはず。子ども教育学科で学ぶ子どもの目線は、安全・安心な地域づくりに役立てられます。

公務員

国や自治体に勤務し、教育と福祉の両分野から子どもと子どものいる家庭を支援。子ども関連の政策を担うことで、健やかに育つ環境づくりに努めます。

塾・習い事の先生

勉強はもちろん、ピアノや英会話の教室、スポーツクラブ、学習塾などで指導します。自身の特技を活かしながら、学校とは異なる環境で子どもの特技と好奇心を育みます。

学童スタッフ

日中などに保護者が不在の小学生が放課後を過ごす学童で働くスタッフ。遊びと生活、両方の場を提供し、活動を見守ることで健全な成長を支えます。

子ども教育学科では、各年齢層に関わる資格を取得できます。4年をかけて学ぶことで、子どもを深く理解し教育・保育・福祉の専門性を高められます。

異文化間教育や障害児保育など4年制大学ならではの深い学び

保育士資格

保育所で保育士として働くために必要な国家資格。託児所や児童養護施設、障害児施設などで働く際にも有効な資格の取得を4年間でめざすため、異文化理解などについても深く学べます。

豊富な実習・実体験から学ぶ幼児教育の力で地域に貢献

幼稚園教諭一種免許状

「幼稚園の先生」になるために必要な資格。一種免許は、幼稚園の経営管理を行うために必要。この資格の取得者には、幼稚園を基盤とした地域の子育て支援を担う役割も期待されつつあります。

小学校英語の指導やICTにも強い教育現場の即戦力を育成

小学校教諭一種免許状

小学校の教諭になるために必要な教員免許状は、子ども教育学科が定めた所定科目の単位を修得すると取得できます。小学校で教壇に立つための採用試験対策もサポートを充実させています。

現場経験が豊富な教員が寄り添い体験しながら学ぶ

特別支援学校教諭一種免許状

特別支援学校(知的障害児、肢体不自由児、病弱児)の教諭になるための資格。特別支援学校、小・中学校の普通学級、特別支援学級で、発達障害のある子への指導や教育的アドバイスも行います。

子ども教育学科が解説！

子どもの世界を考えるのは、 これからの未来・社会を考えること。

SDGsは「誰一人取り残さない」を理念とする国際社会の約束。地球で暮らすすべての人が平和で豊かな生活を送れるよう、あらゆる貧困や差別を終わらせ環境を保護する取り組みに力を注ぎ、より良い未来を作ろうと呼びかけています。その未来を担う子どもたちにSDGsが実現をめざす世界を残すため、子ども教育学科では子どもを通してこれからの社会を考えます。

子どもの世界とSDGs

子どもの世界とSDGs

子どもの貧困



見えにくい貧困に苦しむ子どもに寄り添う

「相対的貧困」が世界で問題になっています。「相対的貧困」とは、国民や地域住民の大多数と比べて貧しい状態を指します。一見すると生活に困っているようには見えませんが、自分が「相対的貧困」であることに気づいていないことも。でも先の見通しが立たず、将来への希望を持ってない「相対的貧困」に苦しむ子どもは日本にも大勢います。心から信頼される大人が添い続けることで子どもは自らの状況を見つめ、前に進む力を持つことができます。言葉にならない子どもの気持ちを汲む大人が必要です。



対象科目 「社会福祉」「子ども家庭福祉」
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「子ども家庭支援論」

子どもの思い



子どもの思いや願いは、まず大人が受けとめる

子どもは、大人の言うことにいつでも従うとは限りません。子どもも独立した「個人」。まだ幼くて十分に言葉にできなくとも、一人の人間としての思いや願いがあります。大人だってそうであるように、自分の思いを汲んでもらって初めて気持ちが満たされ、出来なかったことに挑戦する力を得られます。そして自分の思いを理解してもらえた経験をすることで、他者の思いを受けとめる側に立てるように育っていくのです。子どもの思いを汲む力は、世界の未来をつくる力につながります。



対象科目 「児童学概論」「教育原理」「保育原理」
「学校インターンシップ(基礎)」「子ども理解の理論と方法」

ジェンダー



当たり前と思っていた男女の区別を解消する

以前は、学校の名簿が男の子、女の子の順であったり、教材の色が男女で異なったりする例が一般的でした。一人ひとりの思いや認識が大切にされる実践では、性別にとらわれず、「〇〇さん」と呼びかけたり、色や役割や遊びの種類を自由に選べる環境を設定しています。



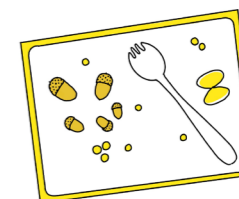
対象科目 「児童学概論」「児童文化論」
「子どもと環境」「保育内容・環境」「保育内容・表現」

小物玩具



小さなおもちゃが育てる楽しさを分かち合うころ

「小物玩具」とは、子どもが自分で手に入れた、大人には「ごみ」に思えるような自然物や廃材などを使って作り、人にあげてもなくとも叱られないくらい小さなおもちゃのこと。子どもは「小物玩具」づくりの名人！昔から木の実や貝殻、空箱などを「おもちゃ」にして遊びを創造してきました。自分で作ったものには愛着が湧きます。そしてその愛着を通して、ものを大切にすることが芽生えます。また、自分で作ったものを誰かにあげることで、楽しさを分かち合うころも育まれます。



対象科目 「児童文化論」「生活」「おもちゃ論」「造形表現基礎」

活動指導計画案



子どもがのびのび育つため水とトイレの問題を考える

小学校や幼稚園、保育施設では、教育や保育の目的やねらいを定め適切な指導をするための指導計画案が欠かせません。その作成では子どもたちに楽しい経験をしてほしいと願うあまり、活動内容を充実させることばかりに力が入りがちです。でも子どものそばにいる大人として忘れてならないのは、水分補給と排泄。清潔で安全であることはもちろん、安心して使用できるトイレの確保は、活動の楽しさを支えます。昨今の気候状況を踏まえ、水分補給も安心安全の絶対要件です。



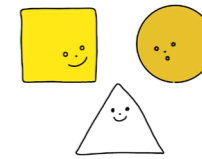
対象科目 「保育内容総論」「保育・教育課程論」
「子どもの健康と安全」「特別活動指導法」

その人らしさを



「みんな同じ」でなくていい、子どもの成長

「学習内容をしっかり教える」とは、教師をはじめとする子どもの成長に関わる仕事の重要な役割です。加えて子ども教育学科は、子どもが世の中や自分以外の人を受けとめ理解し、それぞれの個性に応じた力を身につけ伸ばしていくことにも着目します。「みんな同じ」にすることを目標とする教育や指導は、子どもの成長を妨げることも。目の前の子とも向き合えば、その子に合わせた伝え方が見つかるはず。その人らしさを尊重する大人がそばにいたら、子どもは安心して学ぶことができます。



対象科目 「児童学概論」「教師論」「子ども理解の理論と方法」
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「異文化間教育」

けんか



子ども同士のけんかを、こころの成長につなげる

子どもと一緒に遊んだり学んだりしていれば、けんかは日常茶飯事。つい間に入って止めさせ、両成敗と叱りたくりますが、子どもにとってけんかは大切です。なぜなら、他の人が自分と違うことを知る貴重な機会になるから。その場に居合わせたときは、けんかはだめ!と頭ごなしに叱るのではなく、けんかになった理由や経緯について双方の思いを丁寧に聴きましょう。その上で、お互いが相手の事情を理解できるように促せる、仲立ちする力を身につけた大人になりましょう。



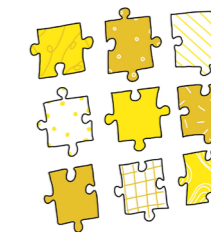
対象科目 「児童学概論」「児童文化論」
「子どもと言葉」「保育内容・人間関係」

多様性



子どもがやりたいことに挑戦できる世の中を考える

生まれた場所や国籍、家族の形態や親の職業、障害や病気の有無、性別、話す言葉…。人を区別するあらゆることによって差別されない社会を、子どもの姿を通して考えることが子ども教育学科の学びです。伝わりにくかったら伝わる工夫をすればいい、困難には関わるみんなで知恵を絞って向かっていけばいい。子ども同士がつながり合うには言葉のほか、歌や音楽、遊びも大切です。子ども教育学科は、すべての子どもがやりたいことに挑戦できる保育・教育・生活の実現をめざします。



対象科目 「児童学概論」「言葉の基礎」「障害児教育総論」「キリスト教保育論」「異文化間教育」
「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「音楽・実技A/B」「造形表現基礎」「Smile English」

子どもの世界で働くセンパイたち。

聖学院大学の卒業生は、さまざまな職場で子どもと関わる仕事に就いています。教育や保育、障害者福祉や親子向けのサービスなど業種も幅広く、多様な分野です。すでに活躍する先輩たちが、後輩の訪れを待っています。

業種別就職状況(2022年3月卒業生)



2022年3月卒業の11名*が小学校と特別支援学校の教壇に立ち活躍しています。
*小学校に8名、特別支援学校に3名が採用されました(臨採を含む)。

(学) 聖学院 聖学院幼稚園 勤務 / 10年目



高須 萌さん [2013年3月卒業]

【Answer 1】

子どもたちにとって幼稚園が、安心して過ごせて自分らしくいられる場所にすることが幼稚園教諭としての心がけ。「子どもたちを認め、受け入れること」を大切に、承認された環境で子どもたちが育っていくことを重視しています。

【Answer 2】

子どもは認めてもらえたとき、本当にいい笑顔を見せてくれます。それは大人も同じです。受け入れられるということはとても幸せなことだと思います。

素敵な笑顔と一緒に

(一社) 仁誠会 障害福祉サービス事業所 いちご 勤務 / 7年目



河野 基香さん [2015年3月卒業]

【Answer 1】

障害のある方々の生活能力を高め、社会参加を支援しています。誰もが必ず持っている強みを最大限に活かせるようになるための自立訓練と生産活動を指導し、ときには在学中に学んだ手遊びや工作、歌と一緒に楽しんでいます。

【Answer 2】

施設を利用する方々は自分を飾ったり気持ちを隠したりはしない一方、言葉で思いを伝えることが難しい方もいます。表情やしぐさによる小さな合図から伝えたいことを理解し通じ合えたとき、この仕事のやりがいを感じます。

必ずある強みの最大化

東京都公立小学校 勤務 / 5年目

【Answer 1】

特別支援教室の巡回指導教員として、複数の小学校を担当しています。発達障害を持つ児童が集団行動に慣れることを目的に、ゲーム感覚で楽しめる簡単な運動を授業に取り入れるなど工夫しています。

【Answer 2】

特別支援教室では、こちらから声をかけ、成果を焦らず待つことも大切。周囲に関心を示さなかった子に、言葉や態度の変化や授業への積極性が見えてきたときは、人の成長する力に感動します。



丸山 賢さん [2017年3月卒業]

子どもの変化を待つ

埼玉県公立小学校 勤務 / 3年目



菊池 知夏さん [2000年3月卒業]

【Answer 1】

3年生の担任をしています。授業を行うことはもちろん、子どもたちとたくさん関わりながら給食、掃除の指導、生徒指導も行います。時には、得意のイラストを活かした黒板アートにもチャレンジしています。

【Answer 2】

在学中に幼稚園教諭の免許状も取得しました。幼稚園での学習や園児の生活についても学んだため、子どもの発達を入学前からのつながりで考え、特に低学年児童と関われることが私の強みになっていると思います。

自分の強みを活かす



一緒に困難を乗り越える

(一社) 仁誠会 障害福祉サービス事業所 いちご 勤務 / 9年目

【Answer 1】

私は生活支援員として障害のある方々が地域社会に参加するための支援をしています。現在は主任として、ご利用者のみならず他の支援員に対しての指導やフォローアップも行っています。

【Answer 2】

障害者福祉の本質は、困っている人に手を差し伸べるということ。日常生活の困りごとを正しく理解して気持ちを寄り添わせ、多くの時間をともに過ごすなかで、困難と一緒に乗り越えられたときに強くやりがいを感じます。



河野 卓仁さん [2014年3月卒業]

埼玉県公立小学校 勤務 / 10年目



薄井 美里さん [2013年3月卒業]

【Answer 1】

小学5年生を受け持ち、子どもたちと笑ったり感動したり、悲しんだり怒ったり、ともに全力の毎日を送っています。そのなかで教師として教えるだけでなく、人間として成長できるような児童から学ぶことも大切にしています。

【Answer 2】

声のかけ方や関わり方次第で子どもの反応は異なり、子どもが返してくる表情や一言は私の心を動かします。子どもたちの成長を一番近くで見届けることができるのがこの仕事の魅力です。

私も、児童から学ぶ



岩崎 莉奈さん [2020年3月卒業]

【Answer 1】

在学中の学び、そして保育士資格と幼稚園教諭免許を取得するなかで、子どもにとってのあそびの重要性を実感。今は教育玩具や遊具を開発・販売する会社で、親子で楽しめる施設のリーダーとなり子どもに遊びとの出会いを提供しています。

【Answer 2】

遊具や玩具を目の前にしても遊びに参加できない子どももいます。そうした子が自らあそびたいと思えるようなきっかけや環境を作ります。子どもたちが自発的に楽しめ、なおかつ成長に寄与するあそびを生み出せるよう日々奮闘しています。

株式会社ボーネルンド 勤務 / 3年目

自発的に遊べるように



子どもの自発性を尊重

(福) 雲柱社 光の園保育学校 勤務 / 4年目

【Answer 1】

勤務する保育所は、子どもがのびのびと成長できる「自由保育」を方針としています。熱意を持った同僚と意見を交わしながら保育に取り組んでいます。在学中のゼミや授業で、子どもに対して一人の人として向き合う姿勢が身に付き、自分の強みとなっています。

【Answer 2】

これまで受け持った3歳未満児のクラスでは、初めて私を「せんせい」と呼べた、一人で靴を履けたなど、子どもの「初めてできた」に立ち会えることが喜びでした。今後は全クラスを担当し、子どもへの理解を深めたいです。



河野 基香さん [2019年3月卒業]

センパイたちに聞きました!

私が聖学院で学んだこと

【Question 1】

仕事における子どもや関係者との関わりを教えてください

【Question 2】

仕事のやりがいや魅力を教えてください

Topics

子ども教育学科 実習準備室



子ども教育学科の授業と連携したサポートなど学科全体で資格取得をバックアップ

幼稚園教諭、保育士を目指す学生のための実習準備室です。子ども教育学科*の授業と連携し、実習に必要な教材づくりの準備をしたり、先輩から折り紙の技術を教わったりすることもできます。幼児教育や保育に関する専門書をそろえ、実習先の施設や市町村との連絡、実習の申し込みをサポートするなど、学科全体で資格取得をバックアップします。

準備室のスタッフとして卒業生が活躍しています

*ここに紹介する先輩たちは、子ども教育学科に名称を変更する前の児童学科の卒業生です。

聖学院大学 子ども教育学科

学科の理念

子ども教育学科では、子どもの言葉、表現、心理などを理解することを学びの第一歩とします。子どもの意を汲んで関わり、一人ひとりの個性を尊重する保育・教育の心を養います。児童学に基づく理論と実践を学んで生活のなかで子どもが体験している世界を共有して、理解を深めます。子どもと大人が共に生きる文化・社会の実現に向けて、現代社会の多様な課題を広い視野と高い専門性をもって探究していく力を培います。子どもの意を汲む力は、言葉をこえて他者と通じ合う力になり、卒業後の進路は多様な職種に広がります。

学科の特徴

子ども理解に基づいた資格・免許状の取得

子ども教育学科の学びは、子どもの世界を理解することから。保育・教育に関わるどの資格・免許状取得を目指すのか、じっくり学びながら検討できるカリキュラムです。

4年制大学だけがができる手厚い人材育成

子どもの姿と発達を的確に捉えて指導計画を策定する能力を育てます。授業の他にも、実習準備室と教育支援センターの専従スタッフが親身になって支えます。

実体験に結びつく保幼小特課程の専門科目に学ぶ

系列の幼稚園や小学校、周辺地域の保育・教育施設などと連携して、実習やボランティア活動を重ねます。実体験を通して子どもと共に創る世界に視野を広げます。

グローバル化社会の多様な教育環境に対応

外国につながる子どもへの保育・教育や日本の小学生への英語指導を学ぶ科目、児童学海外研修を通して、文化的背景が異なる子どもの育ちを理解します。

取得可能な資格・免許

- 保育士資格 ■ 幼稚園教諭一種免許状 ■ 小学校教諭一種免許状
- 特別支援学校教諭一種免許状※2(知的障害・肢体不自由・病弱)
- 児童指導員任用資格※1 ■ 小学校英語指導者資格※3 ■ おもちゃインストラクター※4
- 学校図書館司書教諭資格 ■ 社会教育主事任用資格

※1:児童福祉施設などで「児童指導員」として勤務する際に必要となる資格。卒業時に全員が取得できます。

※2:幼稚園教諭免許状または小学校教諭免許状の取得が必要です。 ※3:小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE)認定 ※4:認定NPO法人 芸術と遊び創造協会

(子ども教育のグローバル化に対応)

小学校の必須教科となる英語を
児童に教える理論と方法を学ぶ



児童英語教育

2020年度から小学校の教科となる英語(外国語)を、児童に指導するための理論と実践を学びます。教員免許状とは別に、民間のJ-SHINE小学校英語指導者認定資格も取得できます。

海外の大学と幼児教育・小学校の現場で
児童学を英語で学ぶ



オーストラリア 児童学海外研修

オーストラリアの教育施設で、幼児教育・小学校教育の語彙、概念、歌、遊び、製作などを英語で学びます。滞在中は小さな子どもがいる家庭にホームステイします。



Love God and Serve His People

聖学院大学

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1

TEL: 048-725-6191 アドミッションセンター

<https://www.seigakuin.jp/faculty/kodomokyoiku/>

